

出会い ふれあい 助け合い

# サロンあへの

VOL.169

もう一度

ピア・カウンセリングセンター

△サロン・あへの△6月の出会い

平成12年6月17日(土)午後1時から△サロン・あへの△6月の出会いを開催しました。

6月のパネラーは、サロン紙に「美智子のこんな話」を連載していただいている自立生活センター・MYIDOKUまいどく代表の岸田美智子氏(アシスタントに同事務局員の山浦孝臣氏)。



岸田美智子さん

四月の大友章三氏に続いて「もう一度、ピア・カウンセリングについて」伺いました。

自立生活センター・MYIDOKUまいどくについて

11年前に全身性障害者在宅介護支援センター「ライフ・ネットワーク」が発足し、それが母体となって、その延長線上に自立生活センター・MYIDOKUまいどくができた。1998年5月に設立、正式に発足してから2年目を迎える。

自立生活センターでは、障害者がいきいきと地域で自分らしく生活できるように、ピア・カウンセリングをはじめ、社会生活力を高める支援(自立生活プログラム作り)、さらに情報提

供の支援、権利擁護の支援、まいどくセミナーなどのサービスや、メニューを提供する活動を行っている。

こうした支援の中でピア・カウンセリングは自立生活センターになくはならないものである。

なお、ピア・カウンセリングそのものの説明やピア・カウンセリングの方法などは四月のそれと重複するので、このでの掲載は省略する。

ピア・カウンセリングを実践

そこで実際にピア・カウンセリングをするに当たっての相談者と信頼関係を築く具体的な手法について。

(イ) 関係づくり(リレーショ

- ン)ー簡単な自己紹介をする
- (ロ) 新しい発見、楽しかったことを話す(ニューアンドグッス)
- (ハ) 共に決めた時間を分け合って交互にカウンセリングし合う(セッション)ー障害について語る
- (ニ) カウンセラーが例としてあげた人物になったつもりで演技する。(ロールプレイ)
- ー役割劇とも言われている
- (ホ) 賞賛、誉める(アプリシエイション)ー相手のことをいっばい誉めてあげる
- 別名「誉め誉めセッション
- この日は、参加者にも「ピア・カウンセリング」のほんの一部を体験してもらおうというこ  
とで、これら五つのうち(ロ)を模擬実践してもらった。
- 参加者に、朝から感じた新しい発見や楽しかったこと(ニューアンドグッス)を手短かに話し

ていただく。

- ・サロンに来る途中、車いすから落とした傘を拾ってもらったこと。
- ・初めて車いすを押ししたこと、
- と、エスカレーターの三段が一枚の平面になって車いすが斜めにならずに乗れる構造があることを知ったこと。

・インターネットで「サロン・あべの」を紹介しつづけ、参加してくれる人が出来たこと。

- ・雨天にも関わらず初参加者があり、出席が多かったこと。
- ・気になっていた一本の白髪を抜いてもらったこと。
- ・自分の庭に水田を作ったので今日の雨降りが水田のカエルと共にことのほか嬉しい。
- ・パネラーと一緒にサロンに参加できて良かった。
- などそれぞれの思いを伺った。
- 休憩の後、参加者の自己紹介と今日のサロンの感想を一言づ

つ発言していただいた。が、サロンの出会いで毎回しているこのことは「ピア・カウンセリング」でいうところの関係づくり(リレーション)と同じものであり、ハサロン・あべのVでは、毎回グループでピア・カウンセリングをしているのでは…

という意見も出た六月の出会いでした。

参加者18名(山村貴司)

## お知らせ

<サロン・あべの>8月の出会い

日時 …8月6日(日)午後3時~7時

場所 …あべのカーニバル会場

なんでも市通り

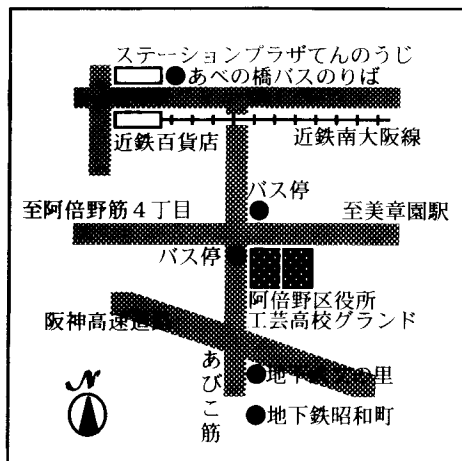
[大阪市阿倍野区文の里1-1-40  
阿倍野区役所裏市立工芸高校校庭]

内容 …「さろん亭」開店

\*お買い得な品物、珍しい掘り出し物、それとサロンの出会いが皆様をお待ち申し上げます。

お問い合わせ先…

TEL06-6691-1028 (冨田慶子)



## 自立生活理念を考える —自己決定と介助—

■ 2 ■

黒田隆之

自立生活という言葉は、周知のとおり Independent Livingの訳語である。本題に入る前に今回は、「自立」という訳語の妥当性について簡単に考えてみたい。というのも、自身も障害者である横須賀先生（鳥取大学）が、自立は誤訳であり、「自律」がより適切な訳語であると、これからは自律生活、自律生活運動と表記することを提案しているからである。

自立生活という表記が、障害者や研究者のなかで標準語となりつつあるにもかかわらず「いまさら」ということではなく、自律生活と言い切ってしまうと失われてしまう意味があるように思われるのでそれにつ

いて述べてみたいと思う。ここでは私自身は自立生活という表記を用いることにする。

横須賀先生は、「自立」は「自分以外の助けなしで物事をやっていくこと」を、「自律」は「自分の規範に従って物事をやっていくこと」を意味するとしている。

すでに自立生活をしている障害者の今の生活を表す言葉としては、自律生活はより適切な言葉であると思う。そして、この場合の自律は、independentより competence (コンピテンス、社会的自律性などと訳される) に近いものであろうと考えられる。

マイリー (Miley K.) は、コンピテンスを「システムとしての人間が、その自己を構成する要素に対し責任ある対応を行い、他のシステムと効果的な相互作用を維持・促進し、また、各種資源の集積場である社会的・物理的環境に貢献する機能を発揮する能力」と定義している。

しかし、Independent LivingのIndependentには、単に自律という意味以外に、まるで英国からの独立を求めた War of Independence

pendence (独立戦争) のように、古いリハビリテーション規範(医学モデル)からの独立という意味がそこにあるように思える。これまでの価値観や分析規範から障害者を解放するという社会運動的な意味が Independent には含まれていくということである。

つまり、Independent Living という言葉が表すものには、自律的な生活というライフスタイルをあらわす側面と、そういう生活をするに自体が社会運動的な意味合いを持つという運動的側



表紙が変わりました

一筆箋

1冊100枚綴 ¥150-

サロン・あべのの運営資金にご協力ください。

面の二つの面があるように考えられるのではないだろうかということである。

ゆえに、それを自律生活といわれると、何となく自立生活理念を作り上げてきた運動的側面が見失われるような気がしてならない。しかし、逆に自立生活という表記が

適当かと問われると、そうともいえないと答えざるを得ないのも事実である。

多くの意味がこめられた Independent Livingを、まったくそのままに表現できる訳語は存在しないということ、すでに自立生活という言葉が定着して

「サロン・あべの」の活動は？ 3

うえひら☆ゆきお

めてみたいと思います。

上平幸雄 (うえひらゆきお)

ここ数カ月、意識してほかのサロンにも参加してみました。〈サロン・あべの〉と比べる気はありません。また、比べる必要もありません。それぞれに、目指しているものは同じだと思っからです。ただ、当然のことながら、雰囲気は違いました。その違いは、どこから来るのか？ 答えは、もちろん、「人」だと思います。

〈サロン・あべの〉の活動を、二回に分けて書いてきましたが、ここからは、もう少し具体的に、運営委員を中心として、この「人」について触れていこうと思います。山村さん、富田さん、石田さん…。お楽しみは後にして、上平(ぼく自身)から始

飽きっぽいというか、浮気性というか。

新しいものが大好きです。まあ、言葉を変えれば、好奇心が旺盛なんです。そんなぼくが、十年以上も、〈サロン・あべの〉に関わっているなんて、奇跡に近いものがあります。

車いすガイドマップを作る会での活動をきっかけに、障害者福祉について真剣に考えるようになりました。

今、テレビでも活躍中の牧口一二さん。その牧口さんの講演が聞けるといふことで

おり、その中身についても広く知られるようになってきていることを考えると、消極的な選択であるが、当面はこのまま自立生活という表現を用いたいと考えている。

参加したのが、〈サロン・あべの〉の発会式だったのです。それ以降、富田さんから毎月の出会いについての案内が届くようになりました。でも、当時のぼくにとって、〈サロン・あべの〉の活動は、物足りないものでした

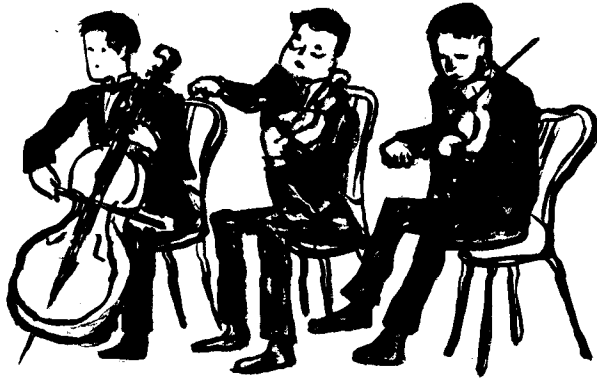
しかし、偶然にも、阿倍野区に住むことになり、再び、顔を出すようになりました。いつの間にか運営委員になり、昨年の三月までの七年間は、代表をしていました。

代表になった直後から、〈サロン・あべの〉というものを自分なりに考え始めました。それは、活動を考えるというよりも、自分自身のキャラクターを作りながら、〈サロン・あべの〉での役割を見つけて作業でした。

## ★感じかたの偏りを知る

私が大学で教えている科目のなかに「社会福祉援助技術演習」がある。これは簡単にいえば、人をどのように援助するかをグループ討論形式で教えるものである。

援助の技術的なことは基本になる考え方によって違ってくるし、また相手が悩んでいる問題のタイプによっても



ML

違ってくる。だから、そういうことは福祉の現場で学ぶのが良いと私は思っている。大学教育の場でできることは、そのための基礎をつくることだろう。

その基礎のひとつが援助者としての自分自身を知ることである。なぜなら、プロの援助者にとっては自分自身こそが援助のための道具であるからだ。

これは特別なことではない。タクシ一の運転手は車のことを知っていないければならない。車が仕事の道具であるからだ。料理人は包丁のことを知っていないければならない。包丁が仕事の道具だからだ。

同様に援助者は自分の声や表情や言葉を使って援助する。だから自分の声や表情や言葉を知っておかなければならない。それが仕事の道具だからだ。私は授業中、学生たちの妙な癖を指摘する。ツメを噛んだり、視線が定まらなかつたりすると、それは援助を行う

人の姿勢ではないと注意する。そういう身体では苦悩する人の心を受けとめることができないのである。

身体や声の問題点を指摘するのは比較的易しい。難しいのは、感じかたの問題点である。自分の感じかた、考えかたの偏りを自覚し、それを抑えることを学ばなければならぬ。そうしないと相手の気持ちが見えてこないし、信頼関係ももてない。

感じかた、考えかたの偏りが、とてもわかりやすい形で出てくるのが家族への援助だろう。

たとえば、母と子の関係がうまくいかない。援助者は「母親が子どもに干渉しすぎているのではないか」と思う。子どもも母親が何かを言おうとすると「うるさい」という。それを見て援助者は自分の考えが正しいと思うかもしれない。

この場合、援助者自身の母親が子ども

もに干渉しすぎる人だった。だから、母親は子どもが苦痛になるほど干渉するものだと思いきこんでいる。あるいは、そうではなくても、母親が子どもに干渉しすぎているかどうかが、たいへん気になる。そのため、この母子の他の面に注意を向けられない。

また、自分自身の母親が感情を表に出さなかったという援助者は、いまから援助をしようとする母親の感情が表現されているかどうか、そればかりが気になる。これも感じかた、考えかたの偏りの例である。

この偏りを無くすことは難しい。援助者にできることは、たとえば自分の家族について充分に他の人に語り、語りかた、自分の感じかた、や考えかたの偏りに気づき、それをできるだけ抑えることである。

感じかた、考えかたの偏りから自由になることができれば、まったく違う生活環境のなかにいる人の気持ち、より多く自分に伝わってくる。援助はそこから始まるのである。

(知)

電話は早い、ファックスも  
Eメールもある  
けど、こころ伝わる  
サロンの絵はがきが、いい。

サロンの絵はがき

五枚一組 一八〇円

# 植物あれこれ

第十八回

山口康二郎

「植物は考える」

— 植物の悲鳴 —

果実は熟していない段階では、「いま食べられては困る」と情報発信をしているのに、人間には通用しないことが多い。キュウリもその一つです。私たちが現在食べているキュウリは青々として、生でかじると苦味走った味がします。

この苦味は、実はキュウリが「まだ、食べてもらおうには早すぎますよ」と発信している情報なのです。キュウリが成熟すると四〇センチ以上の長さになり色も黄色になります。「キュウリ」は熟すと黄色になることから「黄瓜」と名づけられたという説もあるくらいです。

私の子どもの頃（五〇年前）は文字通り「黄瓜」を食べていました。それがいつの間にか青瓜あおうりを食べるようになって、キュウリは実を残すことが出来なくなってしまう

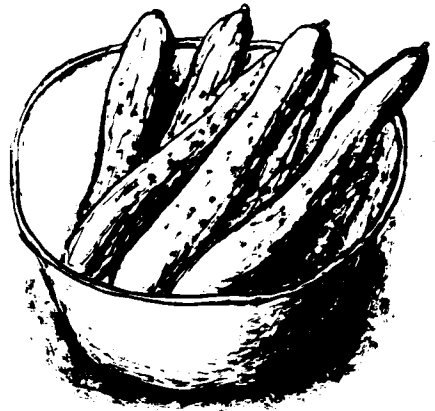
ました。

レモンも同じく、あの強烈な酸味はまだ若い段階であるという信号で虫は寄りつきません。人間はここでも未熟なレモンを好んで食べているのです。

しかし、人間でも食べられない未熟な果実としてウメやモモがあります。これらの果実は熟していない段階では、危険信号として青酸を含んでおり、人間でも食べ過ぎると、青酸中毒死する危険性があります。

これも若いうちに食べられたら困るというところで、植物が化学物質を使つて情報伝達を行っている格好の例です。

植物の果実は種子を安全につくり、動物や昆虫に食べてもらいながら種子を散布してもらおうための装置です。そのために未熟なうちは「いま食べては困ります」という情報を発信し動物や昆虫に対してもコミュニケーションを交わす能力を内在しているのです。



もちろん、植物は警告ばかりを発信しているわけではなく、「食べていい」という段階になると、甘い香りでそれを知らすのです。キュウリやレモンの「食べられては困る」という情報は、皮肉なことに現在の人間には逆に「苦味」として好まれたり、「酸味」として重宝がられて未熟のまま食べられてしまうことになりました。

わずかな救いは、人間はそれらを野菜や果物として栽培し、種を絶やすことはしなかつたことです。それにしても我々人類はやはり、「消費者」であることに間違いのないようです。

# 美智子のこんな話

岸田美智子

これからの施設について  
一緒に考えましょう！

二年に一度、全国の施設から入居者が集まる「施設と人権」シンポジウム・全国交流集会を初めて大阪で開催します。

## 第5回「施設と人権」

シンポジウム・全国交流集会  
～どないすんねん、施設の生活～

### 【日時と内容】

■九月九日(土)

○記念講演(午後一時～)

石渡 和美さん(東洋英和女学院助教  
・湘南ふくしねっとオンブズマン)

○分科会(午後二時三〇分～)

①「施設の生活を豊かにしていこう」

②「どんどん外に出ていこう」

③「地域サービスの利用を進めよう」

④「施設利用者の権利を確立しよう」

◆全国各地の施設・入居者の取り組みや地域自立についての紹介をします。また、参加者のみなさんからの質問や意見交流をする時間もあります。

○懇親会(午後六時三〇分～)

夕食をとりながら交流会をします。

■九月十日(日)

○全体会(九時三〇分～)

「施設の生活をもっと豊かにしていこう  
！」前日の各分科会報告などをします。

○閉会(十二時十五分)

### 【場所】

○会場と宿泊ホテル アウイーナ大阪  
最寄り駅：近鉄電車大阪線 上本町駅

### 【参加費】

①資料代 三、五〇〇円

②昼食代 一、〇〇〇円(九日のみ)

③懇親会代 三、〇〇〇円(夕食代含)

④宿泊代 五、〇〇〇円(一人二泊)

\* 健常者一人二泊 六、五〇〇円

⑤朝食代 一、二〇〇円(ホテルのパ

イキング料理利用の場合)

### 【参加申し込み】

参加申込書(まいどにあります)に記入して左記まで送ってください。

\* 締め切り 七月末

### 【主催】

「施設と人権」シンポジウム実行委員会  
\* 何かわからない事などがあれば、お気軽にお問い合わせください！

### 連絡先

自立生活センター・MYID(まいど)

(担当 池田)

〒五五八-〇〇〇二

大阪市住吉区长居西一-九-十二

TEL 〇六-六六〇九-三三三三

FAX 〇六-六六〇九-三三二〇

E-mail

cil-mydo@jasmine.ocn.ne.jp



# きさみみずきん

美術館にて・表谷恵美子

大阪市立美術館に「フェルメールとその時代展」を観に行った。話題の展覧会だけに大勢の観客が詰めかけていた。

実物そのままに描かれた精密なタッチの沢山のオランダ絵画の中で何故フェルメールの人氣がこんなに高いのだろう。緻密に計算された構図を作り上げながら、彼が観る者に訴えたかったのは何なのだろう。

人々は彼の心象風景を探ろうとするかのように、一つ一つの絵に立ち止まり細部を見つめる。会場で車イスの人を何人か見かけた。高い位置に掛けられた小振りな絵は観にくいだろうと思いつつも、車イスが最前列に来られるように自然に道を譲る観客の様子に何かホッとさせられた。ただしフェルメールの絵の部屋では、とにかく絵の前

で動かぬ人ひと、ヒトの群れ！彼らがちゃんと鑑賞できたかどうか気遣う余裕もない私でした。

目の不自由な人もひとり見かけた。付き添いの人の説明を聞いた、自分から質問したり、実際に楽しそうにしている。説明を聞くだけなら画集を開けば充分だし、こんな人ごみで肩をぶつけるように見回る事もないのにと不思議な気がしたが、彼女は満足げだった。やっぱり、その場で、人の気配を感じ絵の発散するエネルギーのようなものを感じとってこの人は展覧会の楽しさを味わうのだろうか。フェルメールも彼女には自身の言葉で語りかけるのかもしれない。人波のなかに見失ったけれど、願わくば最後まで楽しく鑑賞された事を祈っている。

朗読グループ「ほけっと」のご協力で(サロン・あべの)紙一六八号の録音テープ(六〇分)が出来ました。

## 朗読テープ文庫

- I (サロン・あべの)紙は、第一号より一六八号までそろっています。(五〇号は九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は二二〇分テープ二本)
  - II (サロン・あべの)十周年記念誌「はーとが、はろー！」(九〇分テープ二本十二〇分テープに収録)
  - III 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)  
「ラジオたんぱ」放送(サロン・あべの)平成七年五月の出会い(放送分(三〇分))
  - V エッセー集「逃げた『ヨナ』」ポランディア活動の周辺(岡本栄一著)糸でんわ音訳  
「キミたちだけじゃ困るんだ」身障者だけで旅した十余年(山田誠1995・2・22著)糸でんわ音訳
  - VII 「金子みすずへの旅」(島田陽子著・九〇分テープ二本)糸でんわ音訳
  - VIII 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一二著・九〇分テープ四本)糸でんわ音訳
  - IX 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著・九〇分テープ五本)糸でんわ音訳
  - X 「セルフヘルプグループ」(岡知史著・九〇分テープ二本十二〇分テープ)糸でんわ音訳
- いずれもご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田までお申し出ください。

(☎)〇六・六六九一・一〇二八

たまちゃん

## 2 死刑制度

いつでしたか、たまちゃんといろいろお話をしていると、彼女がいきなり

「稲垣さん、日本の死刑制度をどう思われます」

と真顔で尋ねるのです。

私はあまり死刑制度というものに関心がなかったので、答えるのに戸惑いました。

するとたまちゃんが早く答えなさいよ、と言わんばかりに、

「先進国で死刑制度があるのは日本と米国ぐらいで絶対に廃止すべきです」

とかなり強い口調で言うのです。そして彼女は更に話を続けました。

「死刑を執行するのは殆どが絞首刑ですが、日本は急所がはずれると、そばに立っていた柔道

稲垣 恵雄

## 22

# 晴れのち晴れ

家がとどめをさして息を絶ちます。でも米国は州によって違います。執行時の急所がはずれると、生きて娑婆にもどれるのです」

余談になりますが、一般には囚人が刑期を終え、刑務所から娑婆にもどると言います。しかし仏教ではこの世全体を娑婆といい、娑婆とは堪忍土、つまり耐え忍んでいくところだと言われています。

仏法をお説きになられたお釈迦さまが「人生とは苦惱なり。だからいかなることが起こっても耐え、忍んでいきなさい」とおっしゃっている所以です。

たまちゃんの死刑制度の話は聞いてふと思い出しました。実は数年ぐらい前から東本願寺でも死刑廃止運動が展開され、その末寺まつしの者としてこの問題を見過あごすわけにはいかなくなりました。 つづく

## 感謝

カンパ、切手、著書、お茶、お菓子、バー用品等のご寄贈を、また、サロングッズのお買い上げをありがとうございます。伊勢隆雄、井上きみ子、稲川絢子、奥田真祐美、加賀谷正、坂井征子、杉山篤枝、高藤一男、田村昌子、津村和泉、富田万里子、藤井さゆり、山浦孝臣、山根匡子、山本敏子、吉原和郎、その他の方々

# あつい、あつい

「心頭を滅却すれば火もまた涼し」と達人はいうが、どうしてどうしてそんな心境になれるそうにない。冷たいものを恋しがり、冷房にしがみつきのあつい、あついを連発。なにがなんでも「かるた」です。

舞鶴 かな子 五〇頁



## サロン隣組ニュース

### ■「サロン淀川」8月の社会い

日 時:8月5日(土) 午前11時30分～午後3時

場 所:淀川区民センター グランド

「サロン淀川」たこ焼きコーナー

大阪市淀川区野田南2-1-5

テーマ:夏はやっぱり、たこ焼きやで!

～暑い夏こそ、たこ焼きで乗り切ろう～

パネラー:宮本志津代氏(たこ焼き研究所長)

会 費:なし

問い合わせ先:淀川区社協(ボランティア・ビューロー)

☎06-6394-2900

### ■「サロンつるみ」8月の社会い

日 時:8月6日(日) 午後1時30分～4時

場 所:大阪市立鶴見会館

大阪市鶴見区横堤5-5-51

テーマ:視覚障害者びなごう

～障害を持って学んだこと、そして夢と希望～

パネラー:辻 秀吉氏(大阪市視覚障害者啓蒙協会 東淀川  
分会会長)

会 費:なし

問い合わせ先:鶴見区社協(ボランティア・ビューロー)

担当:藤井 ☎06-6913-7070

### ■《てくてく・すみよし》8月の社会い

日 時:8月20日(日) 午後4時～

場 所:アポロビル地下「酷熱云」(予定)

内 容:ビールで暑さを吹き飛ばそう!

会 費:2000円(予定)

問い合わせ先:山本篤江 ☎06-6692-8411

### ■「サロン『アイ』」8月の社会い

日 時:8月12日(土) 午後1時30分～4時

場 所:「おめちやま」2階ボランティアルーム

大阪市生野区勝山北3-13-20

生野区在宅サービスセンター

☎06-6712-3101

内 容:精神障害者とともに夏の宴

会 費:なし

問い合わせ先:生野区社協(ボランティア・ビューロー)

☎06-6712-3101

### ■「サロンひらの」8月の社会い

日 時:8月26日(土) 午後1時～4時

場 所:にこにこセンター

大阪市平野区平野東2-1-30

内 容:車いすで遊ぼう

会 費:200円

問い合わせ先:平野区ボランティア・ビューロー(大西)

☎06-6795-2200

### ■「サロン・にし」8月の社会い

日 時:8月12日(土) 午後1時30分～4時

場 所:西区ボランティアビューロー室

大阪市西區北堀江4-5-14 6階(西區役所隣)

地下鉄=西長堀駅4-A号出口からすぐ

市バス=地下鉄西長堀駅からすぐ

テーマ:アメリカ体験記の語り～障害者啓蒙研修 日本とア  
メリカの違いとエピソード～

パネラー:宮脇 淳氏(自立生活センターなほ西・「サロン・  
にし」代表)

会 費:なし

問い合わせ先:☎06-6537-0241(宮脇)

### ■「サロンいんたみ」8月はお休みです



ねこも きて しゃくしも 買いにきて

「さろん亭」の売り上げは<サロン・あべの>の活動資金になります。ぜひ、買いにきてください。

さろん亭

あべのカーニバル  
なんでも市通り

連絡先 富田慶子 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 ☎6691-1028

編集後記  
FROM EDITOR

ごめんどうですが、もう一度、カレンダーをご確認ください。8月6日(日)午後3時、あべのカーニバルのなんでも市通りに「さろん亭」がオープンします。夏の暑いさなかで恐縮ですが、友人・知人・親・子・兄弟姉妹・隣近所はもちろん、見知らぬ人もごいっしょに「さろん亭」へお運びください。そして重ねてお願いします。買うてください。(石)

編集人；サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.169[H.12. 7.15.発行]定価¥100.  
代表；山村貴司〒546-0033 大阪市東住吉区南田辺5-1-18 TEL06-6691-9071  
連絡先；富田慶子〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 TEL・FAX06-6691-1028  
表題；井上憲一・筆 文中イラスト；石田美禰子  
郵便振替口座；サロン・あべの 00950-9-26941  
印刷；セルフ社〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミタ-DEN2F TEL06-6719-8212

一九九一年九月三日第三種郵便物認可(毎日発行)